



公明党仙台市議団ニュース

公明党仙台市議団

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7-1
TEL 022-214-8718 FAX 022-711-3454

URL: <http://www.sendai-komei.jp>

Email: komei@sendai-komei.jp

仙台の魅力満喫して

新たなスポットを訪ねて再発見

仙台の魅力満喫し市では、市内各所に新
て……。この春、仙台 たなスポットがお目見
えし、多くの人の来訪
を心待ちにしています。



動物園から市内
を展望する市議
団(上)と新設
された眺望案内
サイン(右)



一つは、「標高の日
本一高い地下鉄駅」と
なった仙台市営地下鉄
東西線・八木山動物公
園駅を新名所として盛
り上げようと、同駅駐
車場の屋上「八木山て
っぺんひろば」から太
白区内を一望する主要
施設の案内サインが設
置されました。

一方、青葉区錦ヶ丘
の仙台市天文台では、
オープンから10年を記
念して館内を大幅にリ
ニューアル。これまで
以上に子ども大人も
学び楽しめる施設とな
りました。



新市長のもと
初の予算編成。
市営バス運賃条
例は継続審査に
なりましたが、
ほかは議会で承
認されました◆選挙公約の
「35人以下学級」は「実現」
でなく「拡充」が確認され、
「切れ目のない子育て支援
(ネウボラ)」も、ご存知の
通り我が会派が長年訴えて
きた施策。前進し良かった
と思っております◆一方、
音楽ホール、庁舎建て替え
等いわば既定路線の踏襲が
多く、新市長の「これから
の仙台をどうしていくのか」
が欠けているように感じま
した◆地方議会の二元代表
制を考えれば、我々も「こ
れからの仙台」を主張すべ
きで、「決定」「監視」「政策
提言」の権能のうち「政策
提言」に力を入れていきたく
いと思えます。

(た)

第1回定例会 本会議

出産から子育てまで 切れ目のない支援が実現へ

代表質疑で嶋中貴志議員



施政方針と予算案から、子育て支援、起業支援、復興公営住宅家賃負担の軽減、防災減災対策、「仙台防災枠組」、市役所改革、人口推計について、当局の姿勢を質しました。

とくに、長年訴えてきた子育て支援策では、出産前後・育児の切れ目のない支援がさらに充実された予算となっており、良い点もありました。一方、「郡カラーを出す」と答弁しながら実態は既存事業の踏襲となった点。さらに、明確なビジョンも目標も執行の手法も見えず伝わってこない、との市民の意見を例に、市長のリーダーシップと具体の取り組みを示すよう迫りました。

地域交通支援が一步前進

鈴木広康議員



鉄道や地下鉄、路線バスなどの公共交通を補うものと期待される地域交通整備の課題を取り上げ、当局の

考えを質しました。新年度は運行計画の策定などに専門家を派遣する技術的支援と、試験運行費用の助成などが行われます。さらなる充実を求めていきます。

「通級指導教室」増設へ

鎌田城行議員



学びを助ける「通級指導教室」の増設と周知・利用啓発、担当教諭の人材育成

等を訴えました。また、教育ローン利子補給支援制度の対象を大学生まで拡大することなどを提唱しました。

「ヘルプマーク」導入を

小田島久美子議員



人工関節の使用や内部障がい、難病、妊娠初期の方など、援助や配慮の必要な方々が周囲から援助を得や

すくするよう作成されたヘルプマークを、仙台市でも早急に導入すべき、と訴えました。起立性調節障害、発達障害、不登校等の諸課題についても質疑しました。

県道仙台村田線の改善整備

佐藤和子議員



国道48号線、286号線と接続し仙台都心部と愛子・茂庭などを結ぶ県道仙台村

田線の渋滞解消や歩道整備、馬越石トンネルの安全管理など、地域住民の長年の要望について、改善に向けた市長の姿勢をただしました。

予算等審査特別委員会で活発に論戦

「いじめ対策推進室」が新設

鈴木広康議員



いじめ対策推進室が新年度から設置されます。いじめ防止の取り組み等について、特に情報の一元化を図り、関係局、関係団体との連携が図れるよう、新組織が要（かなめ）となる「チーム仙台」のスタートに期待します。

自転車安全推進条例創設へ

鎌田城行議員



自転車の安全利用を推進するための条例が今年度中に実現する運びとなりました。ルール順守へ向けた県警との連携強化や保険加入のあり方。さらには、条例の実効性を高める方策など、万全を期すよう求めました。

「通級指導教室」拡充が実現

小田島久美子議員



発達障がいなど特性のある生徒の学びを保障する「通級指導教室」が拡充されます。高校の通級指導教室は未だありません。今後の早期展開を迫りました。また、障がい児者の医療的短期入所時のヘルパー派遣等を求めました。

総括質疑の中で、新年度予算に対する新市長の姿勢を質しました。とくに、復興の総仕上げにあたって、世界に示された「仙台防災枠組」の理念である「多様な市民の取り組みに重点を置いた防災・減災まちづくり」など、

市長はビジョンを明確にすべき

嶋中貴志議員



どのように取り組むのか、また、街づくりについては、「市民の方とともに」は当然として、市長のビジョンについて質問いたしました。

全コミセンへのAED設置実現

佐藤和子議員



新年度、全コミュニティセンターへのAED設置が実現します。私から適切な維持管理等を求めました。また、在宅で介護する家族への支援強化、認知症カフェの周知・充実、若年性認知症の支援拡充等を迫りました。

医療用ウィッグ購入補助実現

佐々木真由美議員



がん治療で頭髪が抜け落ちてしまうなど、患者さんの心身両面の負担を和らげる方策として新年度から、医療用ウィッグ購入費の一部助成が実現します。私からは、この新規事業についての広報と周知徹底を強く求めました。

市民要望への約束を果たせ!

佐藤幸雄議員



住民サービスの「質」の確保と向上、市民との約束を破らないことなど、当局の姿勢をただしました。とくに道路整備に代表される地域要望の回答には責任を持つべきで、信頼を裏切ってはならない、と強く求めました。

予算委員長報告

小野寺利裕議員



平成30年度の予算を審議した本委員会では、行財政改革、子育て支援、いじめ

問題、観光振興、地域交通、雨水対策等、活発に議論されました。付託された40議案中、39議案は採択されましたが、市営バスの運賃改定などが盛り込まれた条例改正議案の決定は見送られ、審査継続となりました。

いじめ問題対策 調特が中間報告

仙台市議会は、短期間で立て続けに市内中学生が自死する事態を重く受け止め、昨年6月に全議員で構成する「いじめ問題等対策調査特別委

員会」を設置し、調査を続けてきました。今年4月、当局に対し一層迅速な対応を願い、再発防止策の整理点と課題・対策を示した中間報告書がまとめられました。

議員日誌

佐藤幸雄議員

私が議会に初登庁したのは2015年9月。以来、定例会の経験は11回を数えました。あっといふ間の2年6か月でした。

11回の議会では、代表質疑が1回、一般質問6回。そして年に1回ずつ開催される予算等審査特別委員会と決算等審査特別委員会で

せんだい豊齢学園修了式で祝辞

菊地昭一副議長

平成29年度せんだい豊齢学園修了式に議長の代理で出席しました。



仙台市シルバーセンターを拠点に、豊かな生活やグループ活動など2年間で様々なカリキュラムを学習してきました。

メンバー全員が認めた文集を読ませていただきました。118名の皆様の「入園して良かった」との気持ちや伝わってきました。生徒の多くは7歳を過ぎているのですが、修了証を授与されるお顔は、とても若々しく輝いておりました。

は毎回質問に立たせて頂きました。

これまでの質疑で心掛けてきたのは、皆さまからお預かりした貴重なお声をどうすればしっかり行政に反映させられるか、ということとでした。先輩議員の質問

を見習い、先進都市の事例等を視察・調査し、当局へ提案し、推進を求めてきました。

「ローマは一日にして成らず。」これからも地道に、安全安心の取り組みを力強く推進して参ります。